

広報 志もじょう

○発行：下條村役場 総務課／〒399-2101 長野県下伊那郡下條村睦沢8801番地1
TEL0260(27)2311 FAX0260(27)3536 ○ホームページ <http://www.vill-shimojo.jp/>

村の人口と世帯
人 口 4,117人
男 1,994人
女 2,123人
世帯数 1,289世帯
平成23年8月1日現在

平成23年8月16日 第170号

わっしょい!!

わっしょい!!

おみこしは年長さんが作りました(下條保育所夏まつり)

主な内容

議会だより	2
農業委員改選	3
いきいきらんど情報	4~5
ズームアップ下條	6~7
教育委員会	8~9
ふるさと納税・泉崎村	10
戸籍の窓口・村民ゴルフ大会結果	
自衛官募集・固定評価委員再任...	11
しもじょっ子まつり	12



議会
だより

第2回下條村議会定例会 震災関連の一般質問相次ぐ

会期 6月10日から
6月21日まで

平成23年第2回下條村議会定例会は、6月10日に召集され21日までの12日間の会期で行われました。一般質問や報告1件、人事1件、条例改正1件、国土利用計画の改定1件、辺地計画の変更1件、補正予算2件、請願3件、意見書3件が提出され、審議の結果12件が可決されました。

▼一般質問は七氏より

初日に行われた一般質問は、次のとおりです。

●震災により影響のあった村内企業に対する施策について

宮嶋清伸

●震災への対応と村の危機管理体制について

村松 積

●東日本大震災の当村への影響と復興支援策について

小池昌人

●防災対策について

金田憲治

●下條村の防災対策について

串原寛治

●住宅の耐震化及びリフォーム等に対する補助制度導入について

宮嶋怡正

●粒良脇区桃立地籍での産業廃棄物処分場の計画について

福嶋利治

（一般質問の様子は、議会当日ケーブルテレビで中継放送し、後日録画放送しました。下條村のホームページの中でもご覧になれます）

▼報告

●繰越明許費の報告について

地方自治法施行令第百四十六

条第二項の規定により、平成二十二年下條村一般会計及び下條村営水道特別会計の繰越明許費について計算書を報告した。

●下條村固定資産評価審査委員の選任につきその同意について

村松幹雄氏が六月三十日付で任期満了となることに伴って、議会では再任とすることに同意しました。

任期は、平成二十三年七月一日から平成二十六年六月三十日までの三年間です。

●条例の改正

●下條村税条例の一部を改正する条例について

平成二十三年三月十一日の東日本大震災により、資産に損失を受けた場合の損失金額の住民税所得控除の特例措置。また、損壊家屋の住宅借入金等特別控除の特例により税額控除適用とする。今改正は、平成二十四年一月一日時点で東日本大震災により被災された納税義務者が下條村に住民登録されている場合に適用されるもので、改正案が可決されました。

●補正予算

●一般会計（第一号）

一千三百万円増額

●歳入の増額の主なものは地方交付税、コミュニティ助成事業補助金で、歳出の増額の主なものは、地域情報システム整備工事費、防災行政無線改修工事費、鳥獣被害対策連絡協議会貸付金で、総額二十一億一千三百万円となりました。

●介護保険特別会計（第一号）

七百四十六万五千円増額

歳入の増額は二十二年繰越金の確定分で、歳出の増額の主なものは国庫負担金償還金、介護給付費交付金償還金、予備費で、総額三億八千五百四十六万五千円となりました。

●国土利用計画の改定

●下條村国土利用計画（下條村計画）の改定について

本計画は当村における土地利用に関して必要な事項を定め、今後の行政運営の指針とするために、全国計画及び長野県計画とともに策定されました。そこで今回、昨年度作成した下條村総合計画の基本構想に示した五項目を計画目標に掲げ、機能的で快適な土地利用、環境に配慮し自然と調和した公共施設の整備、既設用地の多面的利用などを考慮して改定しました。

▼辺地計画の変更

●親田辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

本年度施工予定の村道二百六十三号線（石仏く加竜）の道路改良工事を、平成二十年度から二十四年度までの五年間の計画へ追加したため、総合整備計画を変更しました。

▼請願

●「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書

●三十人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書

提出に関する請願書

●原子力発電行政の見直しを求める請願書

●「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書

●三十人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書

●原子力発電行政の見直しを求める意見書

第三回下條村議会臨時会

●七月十四日、第三回臨時会が行われ、農業委員会委員として四名の方が議会推薦されました。（詳細は別頁）

牧嶋友二氏
(小松原)古田 宣之氏
(阿知原)職務代理 代田稲男氏
(吉岡)会長 古田道寛氏
(長原)村上 和彦氏
(明地原)塩沢 道雄氏
(山二)齋藤 俊二氏
(大久保)前沢 富夫氏
(粒二)幾島 秀政氏
(休戸)福澤 利尚氏
(北又)飯島 一良氏
(北平)清水 幹夫氏
(中平)

農業委員会地域別担当表

	出身地区	氏 名	担当区域	電話番号
◎	阿知原	古 田 宣 之	阿知原	27-3076
	小松原	牧 嶋 友 二	小松原	27-3022
	粒 二	前 沢 富 夫	粒一北・粒一南・粒二	27-3167
◎	大久保	齋 藤 俊 二	粒三・桃立・大久保	27-3193
	山 二	塩 沢 道 雄	中島・山一東・山一西・山二	27-3465
	明地原	村 上 和 彦	中原・新田・明地原	27-2714
※	中 平	清 水 幹 夫	農協全般	27-3338
	長 原	古 田 道 寛	中平・長原・相田	27-3385
	北 平	飯 島 一 良	原平・西部・北平	27-3417
	北 又	福 澤 利 尚	北又・新中原	27-2617
	休 戸	幾 島 秀 政	休戸・合上	27-2534
◎	合 南	幾 島 秀 夫	合南	27-2495
	上野原	田 本 寿 夫	上野原・入野・手塚原	27-2774
◎	仁王関	井 澤 淳	新井・仁王関	27-2435
	吉 岡	代 田 稲 男	鎮西・菅野・吉岡	27-2639

◎印は議会推せん者、※印は農協推せん者

七月の選挙及び議会と農協推薦により、新しい農業委員が決まりました。委員は農地に関する事を始め、農業振興の対策を進める等、農業に関する全てについて活動します。任期は平成二十三年七月二十日から三年間です。担当地区は下表のとおりです。お気軽にご相談ください。

なお、会長に古田道寛氏、同職務代理に代田稲男氏が選任されました。

農業委員改選

農業委員会会長に古田道寛氏
会長職務代理に代田稲男氏

選任される

田本 寿夫氏
(上野原)幾島 秀夫氏
(合南)井澤 淳氏
(仁王関)



いきいきらんど情報



☆子宮頸がんについて☆

子宮には、頸部と体部があります。子宮の入口にできるがんを「子宮頸がん」と言います。

日本では毎年約一万五千人が発症し、約三千六百人が死亡しています。近年二十〜三十歳代の子宮頸がんが増えています。



子宮頸がんは検診で発見しやすく、検診で予防できるがんともいえます。子宮頸がんの予防のためには、定期的な子宮頸がんの検診の受診が重要ですが、日本人女性の子宮頸がん検診受診率は、欧米と比べて非常に低いのが現状です。

二十歳過ぎたら

二年に一回子宮頸がん検診を受けましょう！

子宮頸がんは、HPV感染から五〜十年で発症するとされています。しかしHPVに感染していても自覚症状は全くありません。

HPV感染のピークが二十代前後、子宮頸がんの発症のピークが三十代前半ですから、このHPV感染から発症までの十年の間に子宮頸がん検診を受けることが若い子宮頸がんをなくす上で非常に重要です。

＊HPVⅡ子宮頸がんの原因でヒトパピローマウイルス

子宮頸がん検診の検査は主に問診・視診・内診・細胞診です。検査の結果、精密検査となった方はコルポスコピー診や組織診を行います。

村では七月一日から十二月二十八日までの六カ月間、医療機関での個別子宮頸がん検診の補助を行っています。すでに検診通知が届いている方もいるかと思いますが、検診希望を出していない方で

も受診票をお渡しできますので、保健師までご連絡ください。

また、二十二年度から子宮頸がん予防のためのHPVワクチン（サーバリックス）が接種可能となりました。村では中学一年生から高校二年生までに費用の全額補助を行っています。強制ではありませんので、よくご検討いただき接種をしてください。

☆前立腺がんについて☆

五十歳過ぎの男性がかかりやすい前立腺がんは増え続けています。

日本で前立腺がんにかかる男性の人数は、年間で人口十万人あたり十人程度。部位別のがん死亡順位も十位前後です。年齢別にみした場合、五十代から徐々に増加し、加齢とともに死亡者数、死亡率とも上昇してきています。年々増加傾向にあり、今後増え続けるがんと考えられています。

前立腺がんの場合、腫瘍がある程度大きくならないと尿道や膀胱を圧迫しないので初期段階ではほとんど自覚症状がありません。ある程度進行すると、排尿困難・頻尿・残尿感・夜間頻尿などの症状が現れます。これらの症状は前立腺肥大でも起こるものですので自覚症状だけで、がんを判断するこ

とは大変難しいといえます。

PSA（前立腺特異抗原）検査により、かつて困難だった、早期のまだ自覚症状が出る前の前立腺がんが発見されるケースが増えてきました。PSAとは前立腺組織から分泌される糖たんぱくのことです。前立腺に異常があると数値が上昇します。採血だけで調べられるので、検査の負担も少ないのが特徴です。

下條村でも特定健診に合わせ、PSA検査も実施しています。下條村国民健康保険加入者で五十歳以上の男性の方が対象です。九月二十六日から三十日までが特定健診期間となります。この機会に受診をしましょう。



年に一度の検診の機会をのがさないように、積極的に検診を受けるようにしましょう。

下條村青少協主催 夏休み人形劇場開催しました!

8月3日(水)午前10時より、下條村青少年健全育成協議会主催による、『夏休み人形劇場』が、コスモホール披露宴会場にて行われました。

下條保育所の園児、小学生や一般観覧の皆さんを含めて300人を超える来場者で賑わいました。

今回は、三重県の『人形劇団どむならん』さんをお招きしました。“どむならん”の名前の由来は、伊勢弁で、なにをやらかすか、何を言い出すか分からない、親やまわりの大人達をヒヤヒヤさせ、目を離せない子どもの事を“どむならん子”といいます。そういういたずら好きの子ども達の生き生きした笑顔を創造のよりどころとして作品作りをやっていこうと、この名前をつけたそうです。

“ぼくがいちばんつよいんだぞ!”という作品を上演していただきました。来場者は終始、楽しんで観覧することが出来ました。

下條村青少協では、毎年、いい大人形劇フェスタの広域公演として人形劇場を開催しています。今後も継続して開催をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



独居老人交流会 「おたっしや広場」開催



今年も65歳以上で独り暮らしをしている方の交流会を、6月30日の猛暑の中開催しました。今回の交流会は何か形に残したい、そんな思いから天竜川総合学習館「かわらんべ」にて苔球を作る事にしました。苔球作りを教えていただいた堤久講師から、「今日作った苔球は今の皆さんです、自分だと思って今日から大切に育ててください。枯れるも育つも皆さんしだいです。」その言葉に「自分! 私! わしだな! 育てんとだな!」決意を新たに昼食会の湯〜眠へ向かい、中華を口にしながら昔の今の話に花が咲き、温泉に入りゆったりとした時間を過ごし何年かぶりの同級会、同窓会のような交流会は終了しました。

尚、この会の開催にあたり村の文化祭でのバザー代を使わせて頂きました事を、この場を借りてお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

下條村社会福祉協議会

保育所だより

おみこし作ったよ!!

年長になり親子おたのしみ会に向けて子どもたちはおみこし作りをします。「僕たちは大きい組さん」とはりきって作る姿やアイデアを出してみんなで協力



をして作ることが出来ました。見て下さい。上手に出来ました。「早くかつぎたいなあ」と楽しみにしている子どもたちです。





▲ 7月20日 中学生による模擬議会が役場議場で開催され、環境・福祉・観光・交流・地域づくりに関わる提案が出されました。



▲ 7月28日 保育所のプール参観。あいにくの曇り空でしたが、園児たちは水遊びを楽しみました。



▲ 8月7日 全33チーム出場の第40回飯伊少年野球選手権大会決勝トーナメントが喬木村総合グラウンドで開催され、下條少年野球クラブが優勝し、2連覇の快挙を達成しました。9月10・11日に岡谷市で開催の南信大会に出場します。

カメラでみる 村の動き ズームアップ 下條

平成23年5月から
平成23年7月まで



▲ 7月1日 夏の暑さを吹き飛ばす様な、さわやかな歌声が響きわたる小学校の音楽会となりました。



▲ 7月10日 飯伊消防技術大会が飯田市桐林グラウンドで開催され、小型ポンプ操作の部には第三分団が、ラッパ吹奏の部にはラッパ班が出場し、訓練の成果を発揮しました。



▲ 7月19日 「夏の交通安全やまびこ運動」が19日から25日まで実施されました。初日には県交通安全運動推進下伊那地方部長(地方事務所長)をはじめ、阿南警察署長・交通安全協会の方々と人波作戦を行い交通安全を呼びかけました。



▲ 6月13日 家族の安全を守る「我が家の生活安全課長」が小学6年生に委嘱されました。



▲ 6月20日 「花いっぱい運動」の苗の植え付けが老人クラブの皆さんの協力により、村内の道路沿いで行われました。



▲ 6月26日 各クラブの皆さんによる、舞踊・カラオケ・構成吟・大正琴の芸能発表会が盛大に開催されました。



▲ 5月18日 小学校交通安全教室が行われ「自転車の安全な乗り方・歩行の仕方」について駐在所宮下さん、安協下條支部の皆さんより、指導をうけました。



▲ 5月30日 阿南警察署・安協下條支部・下條村共同主催で、ゴミゼロ運動の啓発活動がカッセイカマンの協力を得て行われました。



▲ 5月30日 保育所の交通安全教室が行われ「信号の安全な渡り方」について、駐在所の宮下さん、安協下條支部の皆さんから教えていただきました。

あしたむらんどだより

村の図書館から



開館記念行事

「一日図書館長」を行いました

七月三日(日)の午後、「一日図書館長行事」が、あしたむらんど下條にて開催され、八名の一日図書館長の皆さんが業務体験などを通じ図書館への理解を深めました。



図書館入口で記念撮影

図書館力ウンターにて熊谷浩平副村長から委嘱状を受け取り、記念撮影の後は会議室へ場所を移し、副村長による挨拶・図書館業務の説明などを聞いていただきました。休憩後、図書館内(書庫など)の見学に続き図書館業務を体験。貸出・返却作業の他、図書のデータ入力にも挑戦していただきました。その後の懇談会では、一日図書館長を体験しての感想や図書館への要望など、気軽に発言していただきました。

平成二十三年度一日図書館長

【利用者代表】

佐々木信夫さん(粒 三)
伊藤 町子さん(手塚原)
駒形文季子さん(新中原)
古田 真美さん(北 平)
【小学校PTA副会長】
熊谷 泰代さん(休 戸)
【中学校PTA副会長】
小木曾久美さん(山一西)

【小学校児童会図書委員長】

金田 諒さん(山一東)
【中学校生徒会図書委員長】
小島 早織さん(原 平)

いただいたご感想から

○デイサービスで皆の知っている昔の歌の歌詞の意味がわからず、図書館で調べた。他の図書館から借りた資料を提供してもらい、皆で楽しむことができて良かった。

○本が大好きだが、目が悪く読むことは無理とあきらめていた。図書館にとっても大きな文字の本があることを知り、借りて読むようになった。文章を読むことで感情が豊かになるのでこれからも大活字本を読みたい。

○職員が利用者の顔を覚え、本の好みもわかっていて新刊を選び購入してくれてありがたい。

○近隣市町村からのおたのしみ会に参加した知人が気楽に寄れて雰囲気の良い図書館だと言っていた。

○こんなに大変な仕事をいつもやっているのを知り驚いた。

○タッチパネル検索で本の場合を探そうとすると、範囲が広すぎて探せないのわかりやすくてほしい。

特別蔵書整理休館日

八月二十九日(月)～九月五日(月)

《蔵書点検》のお知らせ

平成二十三年度、図書館の蔵書点検を夏休みの終わった八月の二十九日(月)～九月五日(月)に行います。すべての資料が正確に所蔵されているかどうかを一冊ずつ確認する作業です。

期間中は長い休館となり、ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。

図書館ホームページ
パソコン・スマホのお知らせ

図書館のHPが新しく生まれ変わりました。

○書誌情報などがさらに充実。

○ご自宅のパソコンや携帯電話から図書館の本を予約できるようにします。そのためには、図書館力ウンターにてパスワードとメールアドレスの登録が必要になります。

九月六日(火)から申込み受付を開始し、十月からインターネット予約を開始します。

どうぞご利用ください。



新しいHPのトップ画面

模擬議会を終えて

三年B組 佐藤 唯



私は、交流グループの長としていろいろ頑張ってきました。

特に頑張ったのが、模擬議会の議案書の作成です。教育委員会へ聞き取りに行き、アドバイスをしてもらったところを直して、模擬議会の議案書に取り組みました。交流グループの長として、まだまだ足りないところもありましたがみんなで協力して模擬議会の議案書をつくり上げることができました。

模擬議会では、提案に対して村長さんから「ぜひ実施して下さい」と言われてとてもうれしかったです。これから、刈谷市南中学校と泉崎村泉崎中学校と連絡を取れるようにするため、教育委員会に相談をしていき、他市町村との交流が実現できるようこれからも頑張りたいです。

今回、模擬議会の体験を通して学んだことは二つあります。一つは、「こういうことをしたいから交流をしたい」とか「どうして交流をしたいか」など自分達でしっかりと根拠を持つことが大切だということです。これから、他校

に交流したい根拠を説明できるようにしていきたいです。もう一つは、「自分から動く」という積極的な行動です。交流グループは、最初何をしたいかわからないから積極的に動いていくことで具体的な提案を形にすることができました。これからもどんどん自分から発言し行動をしていきたいです。最後になりますが、私達の模擬議会のために場と貴重な時間を設けて頂き、ありがとうございました。

臨海学習の思い出

下條中学校 二年生 半崎達也

僕達二年生は、七月の六日と七日に愛知県美浜町で臨海学習を行いました。僕達は一人一人考えて行動内容の濃い楽しい臨海学習にしようぜ☆という目標をたてて臨海学習へ臨みました。

まず、出発の会をやった後にバスへ乗り込みました。そのバスの中では、レク係の計画によりレクをしました。そのレクではとても盛り上がり、楽しかったです。その後、美浜少年自然の家へ着き、まず寝る準備をしました。

そして、一日目の一番の目的の水泳訓練をしました。水泳訓練では、美浜少年自然の家から徒歩で

十分の小野浦海岸海水浴場というところで泳ぎました。やはり海水は、しょっぱく何度か飲んでしまい、喉が乾きました。しかも、波があり沖へ泳いで行くのは大変でした。

夜は、星見の会がありました。星見の会では、ふくろうの会というボランティアの方に来ていただき、月や星座などの説明をしていただきました。月の黒く見えるところは海と呼ばれているようで水は無く、黒い岩石があるという僕達の知らないようなことなどを教えていただいたので、とても為になりました。その後、雨が降ってきてしまった



ので星は見るできませんでしたでしたが、体育館でキャンドルサービスをしました。とても、幻想的で綺麗でした。

二日目は、ほぼ名古屋港水族館の館内で色取り取りの魚や形が不思議な魚などを見ました。僕は、イルカショーで八頭のバンドウイルカが同じ間隔で大きな水槽を一周するところがすごく驚きました。ほかにも、大きなカニやウミガメなど、とても満足できる水族館見学でした。

今回の臨海学習で僕達は下條村内では学ぶことができない、とてもいい体験をすることができました。

お別れのあいさつ

パス ベンジャミン



このたび、私は England に帰ることになりました。

早いもので、こちらに来てから2年が経ちました。下條村の皆さんのことが大好きになりました。

いつもここでの時を思い出してほしい。

Englandにも遊びに来て下さい。
Thank you for the good things
and the wonderful experiences!
ありがとうございました。

下條村ふるさと応援寄付金 のお礼と報告

平成二十年度から実施されております「下條村ふるさと応援寄付金」は、ふるさとを離れて生活されている方が下條村に寄付をすると、住民税などが軽減され、ふるさとを応援したい！ふるさとのために役に立ちたい！という皆さんの思いを形にすることができるとの制度です。

平成二十二年度におきましては、五十四名の方から寄付を頂きました。大勢の方々からのご寄付ありがとうございました。一人一人の下條村への思いを大切に、下條村のむらづくりのために活用させていただきます。

寄付を頂いた皆様の中で、氏名の公表を承諾して頂いた方々のお名前を掲載させて頂きます。

●平成二十二年度寄付者

岩田 正樹 様 千葉県
榎本 貴 様 東京都
小栗 信三 様 福岡県
河上 篤 様 合上・日向出身
清水 厚史 様 中平・平畑出身
古田 善香 様 千葉県
中村 元信 様 兵庫県
三和 正伸 様 千葉県

(アイウエオ順)

また昨年度の寄付金の内訳は左記のようになっており、合計七十万七千五百円もの寄付金がありました。

基金名称	金額
(1)福祉に関する事業	307,000円
(2)教育、スポーツの振興に関する事業	52,000円
(3)若者定住、少子化対策等に関する事業	69,000円
(4)自然環境保全に関する事業	132,000円
(5)歴史文化保存に関する事業	147,500円
合 計	707,500円

東日本大震災 泉崎村のその後

(福島県泉崎村役場)

研修職員 田崎 洋

三月十一日に発生した東日本大震災の際には、救助物資等の提供を頂きましたこと、本当にありがとうございました。幸いにも本村においては、死者、行方不明者等が一人も出なかったことはとても救いと感じております。

震災直後、村内二箇所の避難所には、二十三世帯六十二名が避難していましたが、現在は十六世帯

四十二名が村で用意したアパートに移り住んでおり、村での避難所生活は解消されました。しかし、県が指定した村内への施設へは、未だ四十名程避難していることから、完全に解消されたと言える状況にはありません。

村内全域において、道路をはじめ多くの公共施設が被災しており、道路のあちこちにバリケードが設置されたり、敷き砂利がされたままの状態となっており、住民生活に支障をきたしている状況にあります。また、学校施設につきましては小学校、中学校共に体育館及びプールが使える状態に無く、子ども達の学校生活や授業、部活動等に支障をきたしている状況にあります。さらにはプールにつきましては被災に加え、放射線量の影響を考慮し、屋外プールの使用を控えることから、子供たちはバスで片道一時間ほどかけ、他町村の屋内プールを借りて使用しているのが現状です。

これらの復旧の見通しにつきましては、現在国及び県の災害査定を受ける準備が整い、今後災害の認定を受け、順次復旧・復興に向け工事を行っていく事になります。これら全ての工事については、平成二十四年三月末完了として行わ

れます。

また、一般住宅における被害状況は、全壊が四十三戸、大規模半壊が六十戸、半壊が百八十二戸、一部損壊が四百七十一戸となっております。最も被害件数の多かった瓦屋根の修復については、職人と瓦の不足により見通しがたたないのが現状となっています。未だ目に見えるような復旧はなされていませんが、皆様の温かい心に支えられ、またそれに応えるべく復旧復興に向け全力で取り組んでおります。

「小さな子供の命を守る」救急講習会と

防火講話の開催について

主催 阿南消防署

- 日時：平成23年10月23日(日曜日)
午後1時30分から午後3時30分まで。
- 場所：下伊那郡阿南町西条2333-1
阿南町町民会館 1階大ホール
- 内容：小児に関する手当ての救急講習会と防火講話
(住宅用火災警報器の設置等)
- 募集人員：20名
- 申し込み期間：平成23年10月3日(月)～10月19日(水)
- 申し込み方法：阿南消防署まで。電話でも受け付けます。



問い合わせ先 阿南消防署救急係 電話0260-22-3344

平成23年度自衛官募集案内

自衛官候補生／一般曹候補生

募集種目	自衛官候補生		一般曹候補生
	男 子	女 子	
資 格	18歳以上27歳未満		18歳以上27歳未満 (男女)
受付期間	8月1日 (月)～9月7日 (水)	8月1日 (月)～9月9日 (金)	8月1日 (月)～9月9日 (金)
試験期日	9月18日(日)・24日(土)10月1日(土)	9月25日 (日)	9月17日 (土)

航空学生／看護学生

募集種目	航空学生	看護学生
募集資格	高卒 (見込含) 21歳未満 (男女)	高卒 (見込含) 24歳未満 (男女)
受付期日	8月1日 (月)～9月9日 (金)	9月5日 (月)～9月30日 (金)
試験期日	9月23日 (金)	10月22日 (土)

防衛大学校学生／防衛医科大学校学生

募集種目	防衛大学校学生		防衛医科大学校学生
	推薦試験	一般試験	
募集資格	高卒(見込含)21歳未満の者(男女) 学校長の推薦等が別途必要	高卒(見込含)21歳未満の者(男女)	高卒 (見込含) 21歳未満 (男女)
受付期間	9月5日 (月)～9日8日 (木)	9月5日 (月)～9月30日 (金)	9月5日 (月)～9月30日 (金)
試験期日	9月24日 (土)・25日 (日)	11月5日 (土)・6日 (日)	10月29日(土)・10月30日(日)

平和を、仕事にする。自衛隊で働く人を募集しています。陸海空自衛官募集

自衛官募集ホームページ

<http://www.mod.go.jp/gsd/jieikanbosyu/>募集コールセンター フリーダイヤル0120-063792 ナビダイヤル0570-04581
【受付時間365日年中無休12:00～20:00】 携帯電話はこちらから(有料)

自衛隊募集

検索



〒395-0053 飯田市大久保町2637-3 国合同庁舎1F 電話:0265 (22) 2613 メール:recruit1-nagano@pco.mod.go.jp

◇出生
木下 (子の名)
下島 裕太
彩愛
正健 (保護者)
粒合 (地区)
二上

戸籍の窓口
平成23年5月1日
～
平成23年7月31日
受付まで

固定資産評価審査委員は任期満了に伴い、北平の村松幹雄氏が再任されました。任期は三年間で平成二十六年六月三十日までです。引き続きよろしくお願いいたします。

固定資産評価審査委員に
村松幹雄氏再任

優勝 吉岡 修
準優勝 木下 善洋
三位 堀内 樹夫
ベストグロス 堀内 樹夫

第二十七回村民ゴルフ大会が七月二十一日晴天の中、飯田カントリー倶楽部において、百三十八名の皆様が参加し盛大に開催されました。競技結果は、次のとおりです。(敬称略)

第二十七回
村民ゴルフ大会

山崎 昭幸 83
柳瀬 吾実 81
木下 恵實 78
松下 健輔 34
松島 三穂 95
幾島 良次 91
細田 津子 76
佐藤 津子 78
宮嶋 津子 95
福嶋 津子 77
西村 喜一 (年
亡くなった人
高広 (喪主
山一東 (地区)

死亡
村松 麻衣子
村松 辰也
福澤 春香
塩入 徹也
皆浦 由佳
串原 千織
輪湖 信
前沢 仁美
中村 強志
河上 雅弘
小林 雅弘
花村 雅弘
吉村 雅弘
原 賢基
佐藤 賢基
八巻 由香
實原 充
古田 美恵
松澤 光政
佐々木 帆乃
岡庭 正芳
婚姻
藤本 美結
串原 結愛
関島 実奈
杉本 樹希
小森 駿太
鎮西 登
塚田 忠成
古賀 朝陽
小島 琉偉

史康 修平 雅久 清雅 共喜 崇志 茂善 凌明
小松原 合松 小原 鎮西 阿知 小松 北原 相田 山一東

夏の定番イベント! しもじょつ子まつり

夏休み最初の土曜日の七月三十日(土)、第十三回しもじょつ子まつりが下條中学校を会場に開催されました。

準備段階から不安定な天気でしたが、お祭りには影響のない程度で準備が進められ、開祭式をもって賑やかに始まりました。

ステージ発表では、この日に向けて練習を重ねた九団体が盛り上げてくれました。

飯田市から和太鼓で参加した初登場の泉風鼓廉は、迫力のある響きでトップを飾ってくれました。続いて軽音同好会、阿南消防署は、どちらも昨年より二回目の参加となり、練習と工夫を重ねた発表でした。

また、中学校生徒会の発表では、寸劇を交えた清明祭の宣伝です。お笑



いネタやヒーローショーを交え、多彩に行ってくれました。続くコスモキッズ、剣道、空手は子

どもたちの多い大所帯で、元氣よく発表してくれました。

子ども達が楽しみにしているカッセイカマンと、子どもにも負けなほどノリノリなおやじの会のバンドも見ものでした。

間に挟んだ大抽選会では、無料配布したうちわを使って抽選を行いました。ホームベーカリーをはじめ、当日の屋台で使える無料券等、大人はもちろん子どもが大喜びな景品の数々に、会場のボルテージもことさらに上がりました。



さて、清明園の周りの出店も各店舗に行列がで盛大況。今年はストラックアウトや輪投げ、粘土細工等、目



新しい出店もありました。自ら楽しむこの屋台は、各団体とも子どもでも手を出しやすい金額

設定です。子ども達もどれを食べようか、どこで遊ぼうかと楽しそうなお姿がこちらで見えました。

夕方からは子ども達による



らではの嬉しい光景です。子ども達の健やかな成長を願って万歳で締めました。

その頃、校舎と体育館の間の道に八百個もの竹宵に灯が灯りました。

竹宵は今年で二回目となります。飯下建設労連下條支部・下條ふるさと匠の会・三六会の皆さんが協力して製作していただいたものです。節電



お御興です。四基のお御興を、太鼓や笛に合わせてきおいました。わっしよいわっしよいとさおう子ども達の声は、他のお祭りとは違ってひととき大きく、子育ての村「下條村」ならではの嬉しい光景です。子ども達

のこの夏にふさわしい、自然の灯籠を楽しんでいたのだと思います。さて、残すは大煙火大会のみとなりましたが、せつかくのこのタイミングで、雷雨に襲われてしまいました。

それでも、しもじょつ子まつりのメインイベントとして打ち上げを続け、派手なスターマインの一斉打ちで締めくくりました。お祭りに行つて大雨に降られることもまた夏の思い出になったことでしょう。

下條村全体の夏祭り「しもじょつ子まつり」も十三回を終え、夏の風物詩として定着しております。今年もまた、子ども達の楽しい夏休みの一ページとなったことでしょう。

